

1. Quark License Administratorとは？

LAN環境で5台以上のQuarkXPressを使用する場合には、Quark License Administrator (以下QLA) 製品をご利用いただくことができます。QLA製品は、使用するQuarkXPressのライセンスを購入します(同一プラットフォーム最低5本から1本単位で追加が可能です)

実際のご利用方法は、LAN環境でサーバーをたててQLAServerアプリケーションをインストールして、ユーザーの使用するQuarkXPressのライセンス数を管理します。

QLA製品メリットとして、下記などがあげられます。

- 5ライセンスで何台のマシンにもインストールすることができるので、購入ライセンス数以上の台数にインストールできます。(同時に起動できるのは5台)
- サーバーでライセンス数の管理する為、アクティベーションの手続きが不要になります。
- 外出時にQuarkXPressを使用する際には、ライセンスのチェックアウトを行うことによってLAN外でも利用することができます。

2. Quark License Administratorの中身を知ろう



パッケージには『Quark License Administrator』『QuarkXPress』のCDが同梱されています。『Quark License Administrator』CDから、QLAServerとQLAClientのインストールを行います。『QuarkXPress』CDから、QLA用のQuarkXPressのインストールを行います。

※『QuarkXPress』のCDは製品版と同じものですが、バリデーションコードはQLA専用のもになります。

※SWTooから出荷されるQLAはバージョン3.5になります。

※QLA3.3以前をお持ちのお客様は、ver.3.5に無償アップデートすることが可能です。(弊社サポートセンターまでご連絡下さい)

3. QLAServerをインストールするOSを決めよう



Or



MacOS10.2以降 / Windows2000・XP・2003

QLAServerはMacintosh・Windows・SolarisなどのOSにインストールすることができます。普段クライアントマシンとして使用しているOSやServerOSにインストールすることもできますので、作業環境に合わせてプラットフォームをお選び下さい。またQLAServerインストール後にプラットフォームを変更することもできます。QuarkXPressを使用する際は、QLAServerに指定したマシンは基本的に常時起動している必要があります。

※QLAサーバーのシステム最小構成につきましては、下記URLをご参照下さい
http://japan.quark.com/service/desktop/support/techdb_for6/qla004.html

4. QLAServerをインストールするマシンについて知っておくこと



QLAServerとして使用するマシンの以下の情報を確認、決定する必要があります。

- 1)IPアドレス
- 2)Ethernetアドレス(Macアドレス)
Macの場合:アップルメニュー > このMacについて > 詳しい情報 > ネットワークにて確認できます。
Winの場合:スタート > プログラム > アクセサリ > コマンドプロンプトで「ipconfig /all」コマンドを入力すると確認できます。
- 3)QLAServerの使用するポート番号(1024~65535の未使用ポート番号)

5. QLAServerをインストール時に設定すること



QLAServerインストール時に設定する『ユーザー名』『パスワード』は、QLAClientが起動する時にだけ使用するものになります。

●バックアップサーバーとしてインストール
バックアップサーバーとしてインストールする時にだけオンにします。最初のインストールでは通常オフ。

●サービスとしてインストールする
OS起動時に自動的にQLAServerが起動する設定になります。デフォルトでオン。通常オンのままインストールしても問題ありません。

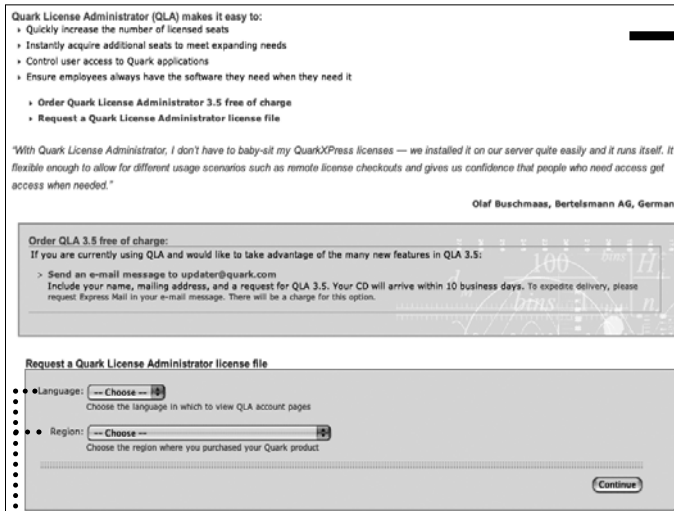
『ライセンスファイルの取得およびダウンロードを行ってください。』

デフォルトでオン。オンにしておくことでQLAServerインストール終了後にブラウザが起動し、QLALicense.datファイルを取得するためのWebサイトが開きます。

※QLALicense.datファイルの取得はインストール完了後にお客様のご都合の良い時に取得することも可能です。

6. QLALicense.datファイルの取得とは

インストールされたQLAServerのフォルダの内(Quark > QuarkLicenseAdministrator > serverフォルダ内)に『QuarkLicense.dat』ファイルを入れて、初めてQLAServerの起動を行うことができます。『QuarkLicense.dat』はQuarkLicenseAdministrator専用Webサイトから入手できます。このサイトはQLAServerインストール後、自動的に開きます。また、Quark社のWebサイトから同ページへアクセスすることができます。



http://www.quark.com/products/qla/
QuarkLicenseAdministrator専用Webサイトのトップページは英語表記になります。

Language:JAPANESE Region:ASIAを選択します。



初めてログインをする時には、『新規アカウントを作成する場合は、ここをクリックしてください』を選択します。

ここで要求されるユーザー名、パスワードはQLAServerインストール時に設定したものとは全く関係ありません。

『お客様番号』は弊社でご購入された場合、納品書に記述されている『カスタマー番号』を入力します。10桁の番号です。
『ユーザー名、パスワード』はこのサイトにログインをする専用のものになりますのでお客様ごとに任意で設定してください。

QLAServerをインストールしたマシンの設定を入力します。
サーバー名:システム環境設定>ネットワーク>TCP/IP
サーバーポート番号:1024~65535の未使用ポート番号の任意の数値
サーバーホストID:システム環境設定>ネットワーク>Ethernetアドレス内のコロンを入力しないで下さい
例) 00:0a:95:92:87:6c → 000a9592876cと入力

バックアップサーバーは使用していない場合は入力不要です。

製品シリアル番号はQuarkXPressのシリアル番号を入力します。複数のシリアル番号をお持ちの場合には、改行するか、セミコロンで区切って入力します。

すべての入力が終わりを一番下にある『送信』ボタンを押すと、こちらのWEBサイトに遷移します。

『すぐにダウンロード』をクリックすると、『QuarkLicense.dat』がダウンロードされます。

MEMO

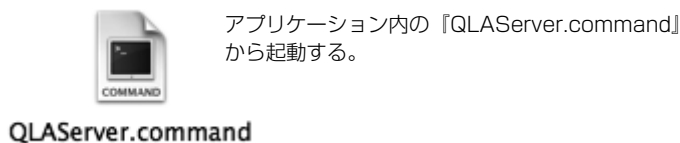
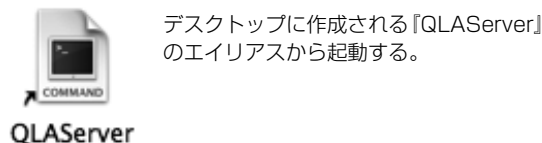
『すぐにダウンロード』を押しても正常にダウンロードができない場合には、キーボードのoptionキーを押しながら、『すぐにダウンロード』ボタンを押して再度ダウンロードをお試し下さい。

※Windowsの場合
右クリックで『対象をファイルに保存』をお試し下さい。

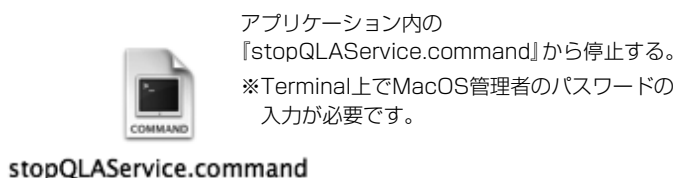
7. QLAServerの起動

『QuarkLicense.dat』をQLAServerフォルダに入れて、QLAServerの起動アイコンをクリックすると、QLAServerが起動します。datファイルの内容に誤りがあった場合は起動することができません。QLA3.5バージョンを使用して、『サービスとしてインストールする』のチェックをオンにしてインストールした場合には、MacOSの起動と同時に自動起動するので、起動アイコンをクリックする必要はなくなります。QLAの起動、停止方法の詳細に関しましては下記をご覧ください。どちらの方法からでも起動・停止することができます。

QLAServerの起動方法（2パターン）



QLAServerの停止方法（2パターン）



QLAサーバー用のTerminalウィンドウを閉じる。



QLAServerの起動についてのご注意点

◆ datファイルの名称

『QuarkLicense.dat』のファイル名でのみ起動できます。お客様の環境により『QuarkLicense.dat.txt』など拡張子が付加されている場合には、『QuarkLicense.dat』にファイル名を手動で修正して下さい。

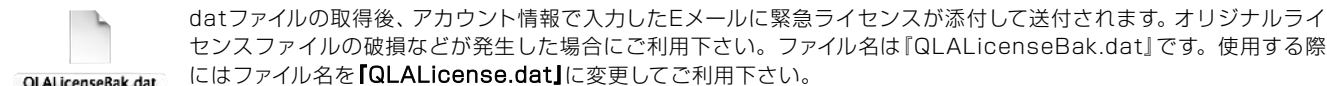
◆ ポート番号の重複

設定していただいているポート番号が既に使用されている場合には、起動する事ができません。別のポート番号を設定後、datファイルの再取得をお試し下さい。

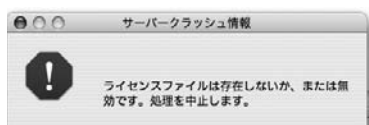
※ポート番号の確認方法

ハードディスク>アプリケーション>ユーティリティ>ネットワークユーティリティを起動し、ポートスキャンタブを選択してください。IPアドレスを入力して[Scan]をクリックするとマシンのポート情報が表示されます。

◆ 緊急ライセンスファイルの使用方法

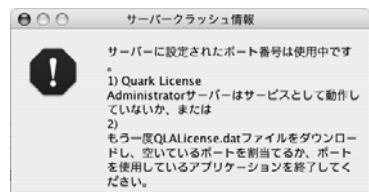


◆ 緊急ライセンスファイルを使用した場合起動するが、弊社WEBサイトからダウンロードしたdatファイルを使用すると起動しない



緊急ライセンスファイルを使用すると起動できる場合や、左記のサーバークラッシュ情報が表示される場合は「サーバーのホストID」項目の入力値（Ethernetカードアドレス）が異なっている可能性があります。正確なIDをご確認の上、QLALicense.datファイルの再取得をお試し下さい。

◆ 「サーバーに設定されたポート番号は使用中です」と表示された場合



Quark License Administrator3.5 (Server) インストール時に、『サービスとしてインストールする』チェックボックスをオンにした場合、MacOS起動時にサービスとしてサーバーが自動起動するため、手動で起動する必要はありません。サーバーが起動している状態で、さらに起動を試みた場合は「サーバークラッシュ情報:サーバーに設定されたポート番号は使用中です」が警告されますのでご注意ください。

◆ MacOS X 10.3.x Pantherをご利用のお客様へ

Terminalが起動したままエラーになり、プルダウンメニューより言語を選択するためのQuark License Administrator Serverウィンドウが開かない場合は、ご利用されているMacOSのJavaのバージョンが旧バージョンの可能性があります。システム環境設定の「ソフトウェアアップデート」をご利用して、Javaプログラムのアップデートがないかをご確認ください。Javaプログラムのアップデートに関しましては、お客様の環境にてご利用に差し支えがない場合のみダウンロードしてご利用ください。Javaプログラムのアップデートに関して、他のアプリケーションやその他の動作・設定について、弊社では保証できませんのでご了承ください。

※QLAServerが正常に起動することができましたら、QuarkXPressのインストール、起動をお試し下さい。

※QuarkXPressのインストール時には、QLAServerをインストールしたマシンのIPアドレス、ポート番号の入力が必要となります。

8. Quark Lisence Administrator Clientとは？

Quark License Administrator Clientはライセンスの管理、設定、変更などQuarkXPressの使用を制御する為のアプリケーションです。これらを設定することにより、チェックアウト日数の変更やライセンスの使用優先権を指定、また必要に応じて予備ライセンスを要求することができます。(QLAサーバーでは設定の変更はできません。閲覧のみになります。)

※QLAClientのインストールは必須ではありません。サーバーのみでQLA製品を起動し、QuarkXPressを使用することができます。お客様の環境に合わせて必要な場合にご利用下さい。

QLAClientを起動するためには、下記のことが必要です。

- 1)QLAServerが起動している必要がある
- 2)Serverインストール時に設定した「ユーザー名」「パスワード」を入力する

9. Quark Lisence Administrator Clientのインストール



インストールする場所を選択します。

デフォルトでは
ハードディスク>Applications>Quark>Quark License Administrator
が指定されています。



サーバー情報の登録では、ご利用の「サーバー名」「サーバーポート番号」を入力してください。(QLALicense.datファイルのと同内容を入力してください)
サーバー名の欄にはIPアドレスを入力します。

バックアップサーバーを利用しない場合は
「バックアップサーバー名」「バックアップサーバーポート」は空白のままにしてください。



インストールが完了しました。

10. Quark Lisence Administrator Clientの起動



デスクトップに作成されている"QLAClient"エイリアスをクリックしてください。"QLA Control Panel Log-on"ウィンドウが起動致します。Quark License Administrator Serverインストール時に設定をしたユーザー名とパスワードにてログオンしてください。ご利用されている環境によってはウィンドウが現れるまで時間のかかる場合があります。他のウィンドウの下に隠れることのないように、開いているウィンドウがございましたら閉じてください。